

## 校長室より④ ～「成長」と「エール」～

富士宮西高等学校のホームページを御覧いただきまして、誠にありがとうございます。

また7月5日（土）、富士球場にて行われました高校野球1回戦。皆様からの温かな御声援のおかげで、素晴らしい試合に恵まれました。こちらにつきましても、改めて御礼をお伝えさせていただきます。ありがとうございました。

それぞれの部活動はもとより、学校行事、生徒会/委員会活動、そして日々の授業…。様々な経験を重ねることで、西高生はどんどん「力」をつけていきます。

本気になってやればやるほど「力」が増してくる。 「力」が湧いてくる。

自信をつかんだ西高生は、あきらかに表情が変わります。言葉が変わります。そしてその姿は、周りを巻き込んで、個々の取組を一層高めていきます…。

教室で伸びた生徒は、部活動でも輝きを増す。部活動で伸びた生徒は、教室でも輝きを放つ。

生徒会活動、委員会活動、学校行事に探究活動、各種ボランティア…学校内外、様々な取組。

その中の、どこか一場面でも「力」が発揮できたとしたら。これは大変ありがたいことです。

全校450名余りの西高生が、様々な取組、お互いが関わり合う中から、どんな成長という名の「化学反応」をみせてくれるのか。西高生も我々職員チームも、一人ひとりのチャレンジはまだ続きます！

7月、早、1学期末を、そして夏季休業を迎えます。

1年生諸君。例えば集会時の校長講話。壇上に立たせていただくとき、明らかに君らの「成長」が伝わってきます。それは「切り替え」の素早さ。そして「聴く姿勢」のすばらしさです。

「スロースターターでいいからね」で始まった、君らと私の西高ライフ。君らはいつものまにか、立派な西高生。その調子で一つずつ、できること、分かることを増やしていこう。コツコツと一つずつ。焦らず急がず、それでよし。

2年生の君たちへ。3年生がいかに「偉大」であったか。身に染みて感じている君らがいるようですね。それでいいと思います。いきなり、憧れの先輩の「コピー」を目指す必要はない、と私は考えます。先輩の良さをお手本（目標）に、自分の持ち味をどう活かしていくか。探す、試す、やってみる。困ったときには、西高の「家宝（校宝）」＝「仲間」の声 に耳を傾けてみる。きっとヒントが得られるはず。苦戦、苦労、うまくいかないことの一つひとつが、実は君らに大きな力を与えてくれます。負けるなや、2年生！

3年生諸君。

Q「時間、足りていますか？」　　こう私が尋ねたら、今の君らはどう答えますか？

「邦先生、本当に大丈夫ですか？　間に合うのかどうか。　不安ばかりです。」

夏場にこんなセリフを私に伝えておきながら、冬には見事に合格をつかんだ卒業生は数知れず。つまり… やればやるほど、やらなければいけないことが増えてくる（＝見えてくる）。これが「勉強」のようです。やらなければいけないことが増えてくる、ということは実は将来の「成功」に向けて、正しい方向へ進んでいる「証し」なのかもしれません。

3年生の諸君にとって「勉強の仕方を学ぶ」こともまた、とても大切なこと。

「苦労して自分でつかんだものだけが、手元に残る高校生活」

西高生、かわいい後輩たちが、3年生諸君の後姿をしっかりと見守っています。

粘り強く、じっくりしっかり「実践＋改善」あるのみ。

生活づくりに磨きをかけて、充実した毎日を過ごされますよう、期待しています。

今日も終業のチャイムが聞こえてきました。

授業を終えた西高生の、明るくにぎやかな笑い声が、向こうから響いてきます。

青春の語らい。安心のひとつとき…。

何度聞いても、実にいい、ありがたいひとつときです。　　（感謝）

校長　　鈴木邦浩（令和7年7月上旬）